

がまこおり 議会 だより

5月市議会臨時会・6月市議会定例会

5月臨時会／議決された主な議案……………	2～3
6月定例会／一般質問…ここが論点……………	4～9
6月定例会／議決された主な議案……………	10～12
委員会通信……………	13
9月定例会予定等……………	14

NO. 112
2021.8



新型コロナウイルスワクチン接種（職員による模擬訓練の様子）

正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会
議案

5月市議会臨時会は、5月13日、14日の2日間の会期で開きました。今議会では、大向正義議長、青山義明副議長を選出し、各委員会の構成などを決めました。また、議案5件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。その主な内容をお知らせします。

専決処分の承認

●市税条例の一部改正
(第32号議案)

地方税法の改正に伴い、4つの税の規定を改正しました。

個人市民税は、扶養親族申告書及び退職所得申告書に係る、電磁的方法による提供の規定の整備をします。固定資産税は、令和3年度評価替えに伴い、宅地等に係る負担調整措置の仕組みを令和3年度から令和5年度まで継続します。

また、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、令和3年度に限り、負担調整措置等により課税標準額が増加する土地について、前年度の課税標準額を据え置く特別な措置を講じ

ます。

都市計画税は、固定資産税と同様の改正を行います。軽自動車税は、環境性能割に係る燃費基準の見直しが行われたことに伴い、規定を整備します。

また、新型コロナウイルス感染症による経済の状況等を勘案し、環境性能割の税率を1%軽減する特例措置について、適用期限を9か月延長し、令和3年12月31日までに取得したものを対象とします。

その他の議案

●監査委員の選任
(第36号議案)

議会選出の新実祥悟委員の辞任に伴い、後任委員として稲吉郭哲議員を選任することに同意しました。

5月臨時会の日程

13日	本会議〔会期の決定、議案説明など〕 議会運営委員会 経済委員会
14日	本会議〔質疑、討論、採決、監査委員の選任、正副議長の選挙、委員会委員の選任など〕 全員協議会 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

5月臨時会で議決された令和3年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第1号)	新型コロナウイルス感染症対策基金積立金	4億円	6億 3,577万円
	新型コロナウイルス感染症対策事業費 PCR検査等医療体制整備事業費 抗原検査委託料	765万円 412万円	
	ごみ屋敷堆積物処理業務委託料	400万円	
	形原中学校体育館大規模改造工事費	2億2,000万円	
			318億 8,452万円

全会一致で承認、可決、同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ② 専決処分の承認 (市税条例の一部改正)
- ③ 専決処分の承認 (令和3年度一般会計補正予算・専決第1号)
- ④ 令和2年度モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
- ⑤ 令和3年度一般会計補正予算 (第1号)
- ⑥ 監査委員の選任



議長に大向正義議員 副議長に青山義明議員を選出

5月14日の議案審議の終了後、大竹利信議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われ、4名の議員の所信表明の後、投票の結果、大向正義議員が第68代議長に当選しました。

続いて、副議長の選挙を行い、3名の議員の所信表明の後、投票の結果、青山義明議員が第70代副議長に

当選しました。

次に、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の各委員の選任を行い、それぞれ互選により、正副委員長を決定しました。

その他、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員及び東三河広域連合議会議員の選挙を行いました。

各委員会及び各議会議員

の構成は、左下の表のとおりです。

各委員会の内容は

●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○総務委員会

行政の総合的な企画・調整、財政、財産、消防、監

査委員、選挙管理委員会に関することなど。他の委員会に属さないことは総務委員会を担当します。

○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、ボートレース事業など。

○文教委員会

市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

●議会運営委員会

円滑な議会運営を行うために置かれ、会派間の意見

調整と会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、当委員会は議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通渋滞緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

就任 あいさつ



議長 大向正義



副議長 青山義明

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは5月市議会臨時会におきまして、多くの議員諸氏のご賛同を賜り、議長・副議長に就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。職務の遂行に全力を傾けるとともに、公正かつ円滑な議会の運営にいつその努力をまいります。

さて、新型コロナウイルスワクチン接種もいよいよ始まりました。これからは、新型コロナウイルス感染症の終息はもろろんのこと、地域経済を立て直しが急務であると考えております。また、近年日本各地で起こっている災害に加え、少子高齢化、教育や福祉など数多くの事業を行っているかなければなりません。

市民の皆さまの要望を市政に反映させるために市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分に認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

区分		氏名 (◎委員長 ○副委員長)			
常任委員会	総務委員会	◎牧野泰広 竹内滋泰	○藤田裕喜 柴田安彦	尾崎広道 松本昌成	青山義明
	経済委員会	◎鎌田篤司 稲吉郭哲	○大須賀林 大竹利信	大場康議	喚田孝博
	文教委員会	◎伊藤勝美 鈴木基夫	○鈴木将浩 日恵野佳代	大向正義 鈴木貴品	新実祥悟
議会運営委員会		◎喚田孝博 鈴木貴品	○稲吉郭哲 竹内滋泰	大須賀林 鎌田篤司	伊藤勝美
国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会		◎牧野泰広 鈴木貴品	○大須賀林 竹内滋泰	大場康議 大竹利信	鈴木将浩 藤田裕喜
蒲郡市幸田町衛生組合議員		大向正義 伊藤勝美	喚田孝博 稲吉郭哲	鈴木将浩 鎌田篤司	鈴木基夫
東三河広域連合議会議員		大場康議	大竹利信	柴田安彦	



一般質問…ここが論点

6月市議会定例会中、6月11日、14日、15日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

■ 一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
6月11日(金)	藤田 裕 喜	博物館の現状と今後
	牧野 泰 広	こころざしをカタチにする取組 水産振興策
	鈴木 将 浩	新型コロナウイルスワクチン接種ウェブ予約 デジタル格差の解消
	鈴木 基 夫	国民健康保険 公契約条例
6月14日(月)	大須賀 林	狭隘道路の解消
	竹内 滋 泰	組織・機構改革 市民病院の安定経営
	新実 祥 悟	子どもを産み育てる環境 小中学校の状況
	松本 昌 成	こども基本条例 祖父母手帳 流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援等
	大場 康 議	新型コロナウイルスワクチン接種 蒲郡駅北地区の開発
	日恵野 佳 代	生理の貧困の対策 コロナ禍での地域経済の支援 学校・公園の遊具
6月15日(火)	鎌田 篤 司	交通安全対策 新型コロナウイルスワクチン接種 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応
	鈴木 貴 晶	旧市民プール周辺の跡地利用 公衆浴場 移住定住促進策
	稲吉 郭 哲	新型コロナウイルスワクチン接種の市の対応 春日浦分譲地 市有財産の土地（普通財産）の売却
	喚田 孝 博	竹島の保全 災害時の要配慮者支援 主要幹線道路の整備見直し
	尾崎 広 道	消防署西部出張所移転計画 馬相交差点と音羽交差点 鹿島大橋東交差点及び鶴ヶ浜団地東交差点 市役所敷地内駐車場の緊急車両停車位置部分等
	柴田 安 彦	新型コロナウイルスワクチン接種 ゴミ減量・温室効果ガス削減対策としてのリユース推進 蒲南土地区画整理事業の換地処分

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

藤田裕喜 (市政クラブ)

博物館の現状と今後

問 今後の公共施設マネジメント実施計画での方針及び検討状況は。

答 今後検討していくこととなる。

問 市民参画を進めるため、幅広い市民対象の組織設立や、ボランティア募集の考えは。

答 市民参加の組織形態は、個別の目的に沿って集まった方が各自の志に合わせたきめ細かな連携ができるのではと考える。市民には今までも資料等の提供と提供者の知識等を教示して



市博物館

もらい、展示にいかしてきただ。今後も資料を媒介に多くの人の協力を仰ぎたい。

問 コロナ禍での博物館の役割は。

答 適切な感染症対策を講じ、社会から切り離されることなく、活動を継続していきたい。

問 人口8万人のまちの公立博物館として何を指すのか。

答 人口と予算の規模を鑑みつつ、先人が歩んできた歴史や近隣地域との繋がりを知ることができ、かけがえのない資料を次世代に守り伝える場でありたい。

牧野泰広 (自由クラブ)

企業版ふるさと納税について

問 企業版ふるさと納税は、民間企業・市ともにメリットがあると考えますが、実績がたつた2件とはいかがなものか。今後、市はどう取り組むつもりか。

答 本市はゼロカーボンシティ宣言をし、温室効果ガス排出量を実質ゼロに

する取組を進めている。企業の関心も高いこうした事業を含め、より多くの民間企業が企業版ふるさと納税を活用してもらえよう情報発信と共に、企業側の寄附ニーズと市の事業とのマッチングを図っていく。

アサリ漁の今後の取組について

問 本市の重要な水産資源であり、観光資源でもあるアサリの不漁が続いている。原因も分からず、毎年同じ対策でいいのか。今後はどうするつもりか。

答 県に対してアサリ資源の回復に向けた事業の促進を働きかけるとともに、県が行う調査・研究の結果等を踏まえ、漁業関係団体と、より効果的な対策を検討・実施する。

鈴木将浩 (自民党市議団)

新型コロナウイルスワクチン接種ウェブ予約

問 2回目のウェブ予約ができないケースや、ア



クセス制限のかかっていた状況があった。対応を伺う。

答 予約方法については、アンケート調査の結果を参考に、できる限りのシステム改修を検討する。アクセス集中には接種券の段階発送等の対策をとる。

デジタル格差の解消について

問 高齢者・障がい者・外国人等、いわゆるデジタル弱者に対して、各種団体等とも連携し、対応が必要と考えるがどうか。

答 対応がなかなか進んでいないが、実践する場や専門的な対応も必要と考え、民間事業者の活用も検討しながら、格差解消に向けた取組を進めたい。事業者にも県の施策をしっかりと周知し、活用してもらえようなフォロ

ーアップが必要ではないか。商工会議所と連携したデジタル活用セミナーの検討のほか、県の支援策等も周知し、市の施策の有効活用へつなげたい。

鈴木基夫 (自由クラブ)

国民健康保険について

問 子供に係る均等割の減免についての動向は。

答 全国市長会を通じ、子育て世帯の負担軽減を図るため、子供に係る均等割を軽減する支援制度を創設し、必要な財源を確保するように要望してきた。法律改正により、令和4年度から未就学児に係る国民健康保険税の均等割額の軽減割合は7割軽減世帯では8・5割、5割軽減世帯では7・5割、2割軽減世帯では6割、これらの軽減が適用されない世帯は5割の軽減を受けられるようになる。軽減に係る公費負担部分は、国2分の1、都道府県4分の1、市町村4分の1の割合となっている。

公契約条例について

問 市は今後、公契約をどう考えていくのか。

答 今年度中に公契約に対する指針をまとめる。条例制定は県や他市の運用状況や課題等を研究するとともに、コロナ禍による国の労働政策の動向にも注視しながら検討していきたい。



大須賀林 (自民党市議員)

狭隘道路の解消について

問 6月1日より施行された「市狭あい道路に係る後退用地等の確保と整備に関する要綱」で後退用地寄附の補助対象が市街化区域に限定される理由は。

答 狭隘道路の7割が市街化区域に存在し、市街化区域は住宅密度と生活道路利用率が高いため、支援優先度が高いと考えていること。都市計画の観点から立地適正化計画でも、居住誘導区域を市街化区域内に設定、居住場所を集約し効率的な都市経営を目指しているため、考え方は合致していること。加えて、効率的整備のため、優先実施範囲を絞る必要があるといった様々な要素を勘案し総合的に検討して決定した。

問 解消に向けた市長の決意を伺う。

答 狭隘道路の問題解決は、市民の安全で良好な居住環境の向上につながる重要な施策と考えている。時間がかかるかもしれないが、事業を継続して進めていくことにより、市民の協力を得ながら、少しでも解消できるよう取り組んでいきたい。

い。

竹内滋泰 (自民党市議員)

組織・機構改革を踏まえた今後の市政運営について

問 4月に行った大規模な組織及び機構改革を踏まえ、今後の市政運営について市長の考えを伺う。

答 一人一人が希望と幸せを実感できるまちづくりを目指し、チーム蒲郡で市政運営に臨んでおり、より着実に推進するため機構改革を行った。今後は市民



市政に取り組む鈴木寿明市長

の命と暮らしを守る体制を整え、市民の声をしっかりと聞き、ニーズを捉えて第五次総合計画の実施に向け、市民一体となったワンチームで市政運営を行っていく。

市民病院新棟建設に向けて

問 新棟建設への調査の取組状況を伺う。

答 地域への最適な医療提供、住民の安全・安心に寄与する考えの下、災害、感染症対策や高度・先進医療推進等を目標に在り方を協議し、救急医療・健診センターの充実、内視鏡センター1拡充、医局や研修医室確保、再生医療推進等は、おおむね決定している。今後は新棟建設の場合の場所と規模の考えをまとめたい。

新実祥悟 (自由クラブ)

子どもを産み育てる環境について

問 公共施設の妊婦優先駐車場の足りない印象だが、今後の設置の見通しは。



妊婦のマークのある駐車場

答 妊婦のマークのある駐車場14台分とスペースを広くとった駐車場が116か所あるため、看板設置等適切に整備していきたい。

問 地区が管理する公園等のトイレを業者に委託することの可否と、老朽化したトイレの今後の考えは。

答 都市公園では、地区の負担が過度な場合に業者へ清掃委託している。児童遊園地等では地区に管理をお願いしているが、業者委託も含め今後検討したい。老朽化したトイレは、個別施設計画に基づき補修・建て替えを考えていく。

中小学校のデジタル・トランスフォーメーション

問 環境整備と授業内容について伺う。

答 今年の2月には全小中学校にタブレット端末が配布され、7月からは4校に1人のICT支援員を配置する。タブレットによる意見交流等、各校で順調に利用し始めている。

松本昌成（公明党市議員）

子ども基本条例について

問 条例への認識、条例が目指すものは。

答 子どもの権利条約の理念に基づき、子どもの権利を保障し、成長の過程にある子供の心身の健やかな育ちを社会全体で支援することと考える。

祖父母手帳について

問 祖父母手帳の意義について市の認識はどうか。

いても検討していく。

大場康議（自民党市議員）

蒲郡駅北地区の開発について

問 開発のタイムスケジュールについて伺う。

答 開発の事業区域は、蒲郡駅北口に位置する蒲郡駅前ビル、蒲郡名店街ビル、トータルビル及び大和ビルの4棟を含む約0・3haである。事業期間は令和3年度から7年度を予定し、主な事業内容は、3年度が調査設



答 親世代との子育てに対する知識・感覚のずれや戸惑い等の解消を図り、双方が楽しく子育て、子育てのでき、地域における子育ての担い手を増やすきっかけになると考える。

流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援

問 市の対応、考え方を伺う。

答 本市では子育て世代包括支援センターにおいて相談に応じ支援している。産後ケア事業については、精神的負担を感じないよう、今後は訪問型での実施につ



蒲郡駅北エリア

計計画、4年度は建築物等の除去、5年度から7年度にかけて建築物工事となっている。

問 新規のビル建設が予定されている中、市としてまちづくりの観点から、今回の事業区域は、本市にとって大変重要なエリアであると考えている。ビル内に公共施設を入れ込むことを検討していく考えは。

答 本市で初となる優良建築物等整備事業を推進することが、駅北地区全体の再整備への機運を高めることにつながるものと確信している。民間事業者を活用して公共サービスを充実させることを含め、まちなぎわいにつながるような様々な可能性を視野に入れ考えていく。

日恵野佳代（無党派・日本共産党）

生理の貧困対策を

問 市は経済的に困窮している方への生理用品の支援を継続したいと言った。今後、学校や公共施設の女

子用トイレの個室に常に生理用品を配備する考えは。

答 現段階でトイレの個室に設置する予定はないが、他市の取組について情報収集をし、学校では養護教諭部会と連携し、今後取り組む課題と考えている。

学校・公園の遊具について

問 蒲南小や東部小でブランコ等3大人気遊具が使えないものもある。新しい遊具はいつ設置するのか。現在使用できないまたは未設置の小学校を優先に整備を進めていきたい。



問 小学校や公園等の遊具が老朽化により使用できないが、危険立入禁止のテープだけで撤去してない箇所がある。子供の安全を考え、老朽化した遊具は至急撤去できないか。

答 学校の遊具は、なるべく早く撤去し整備を進め、公園の遊具は公園長寿命化計画に基づき更新する。

鎌田篤司（市政クラブ）

自転車乗車用ヘルメット着用促進事業について

問 防災時にもヘルメットを使用できるように、補助金の対象年齢を全世代に広げる考えを伺う。

答 利用状況や他自治体を参考に考えていきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 万が一の際の救済制度について伺う。

答 厚生労働省の予防接種法に基づく健康被害救済制度がある。厚生労働大臣が健康被害を認定した場

合、請求により、医療費の自己負担分や入・通院の諸経費、障害年金、死亡一時金等が市から給付される。

新型コロナウイルス感染症対応の避難所の運営

問 感染症に対応した避難所運営訓練を伺う。

答 昨年度、地域避難場所開設担当職員等を対象に、地域避難場所での説明会を実施した。1人2メートル四方のスペースを確保することとし、設営のイメージをすることができた。今年度も説明会を実施する。

鈴木貴晶（自由クラブ）

旧市民プールの跡地利用について

問 旧市民プール跡地の現状について伺う。

答 令和元年度に解体工事を終え、解体後の跡地は財務課で所管している。

問 暫定的に子供たちの遊び場として多目的広場を整備できないか。芝生を整備すれば、花火大会の観覧場やくらふとフェアなどにも活用できるかどうか。

答 今後の活用方法については引き続き関係課で検討していきたい。議員披瀝の活用方法についてもその検討の中で話し合いたい。

移住定住促進策について

問 デュアルライフ（二地域居住）推進に向けた市の取組を伺う。

答 将来的な移住・定住に結び付けることを目的とした事業として、ふるさとワーキングホリデー事業



稲吉郭哲（自由クラブ）

新型コロナウイルスワクチン接種の市の対応

問 国の優先接種順位はあるが、市としてある程度の自由度を認められていると思う。市の考えは。

答 誰を優先的に接種するかについては、いろいろ

るな考えがあるので、医学的専門家を含む新型コロナウイルス感染症対策本部における専門部会で検討していく。

春日浦分譲地について

問 B地区（低層戸建住宅地）の販売状況は。

答 全区画数は282区画で89・4%が成約済となり、残りの区画数は30区画となっている。

問 C地区（事業用地）の現状について伺う。

答 売買実績はなく、残り1区画であり、昨年度



春日浦分譲地



国の天然記念物に指定されている竹島

は事業者に対してでも定期借地での貸付けができる体制を整えた。
当該地の販売は、この制度に加え、売却による方法も検討しており、今回は一般競争入札による公募売却を実施していきたいと考えている。

喚田孝博（自民党市議団）

竹島の保全について

問 龍神岬の大松保護工事をはじめ、竹島全体の保全調査の必要性の考えは。
答 龍神岬の治山整備を県に要望する際に、竹島全体の保全調査が実施可能であるかも含め相談したい。

災害時の要配慮者支援について

問 対象者の基準をどのように見直したのか伺う。
答 要介護高齢者のうち要介護3を加え、障がい者の要件から単身75歳以上、同程度の障がい者と同居世帯の要件を撤廃。新たにシニアカード一人暮らし世帯登録者を追加したことで対象者数を3600名程度と想定している。

主要幹線道路の整備見通しについて

問 東三河建設事務所の事業の内、蒲郡市分の予算はどの程度か。
答 令和3年度が143億円の内、6・9億円。2年度は155億円の内、4・1億円。元年度が142億円の内、4・4億円。

尾崎広道（自由クラブ）

消防署西部出張所移転計画について



現在の消防署西部出張所

問 建設予定地付近への説明の予定を伺う。
答 適切なタイミングで必要な都度説明する予定。
問 西蒲町馬相、形原町音羽の危険な交差点について
答 音羽交差点での、歩行者等が信号待ちするための待機場所の設置予定は、道路管理者の県から、現状ないと聞いている。
問 馬相、音羽の交差点における歩行者待機場所設置について、教育委員会等から県への要望状況は。

答 今年度この2か所は、市の交通安全主任者会で危険箇所として報告されたため、「蒲郡市通学路交通安全プログラム」に基づき安全性確保に努める。

鹿島大橋東交差点等の通勤時交通渋滞について

問 カインズモール入口等の信号交差点での渋滞緩和に関し、市民・通勤者等からの要望状況を伺う。
答 令和2年度に1件あり、蒲郡警察署に伝えた。

柴田安彦（無会派）

ゴミ減量・温室効果ガス対策としてのリユース推進

問 住民各々がジモティーなどのリユースアプリを活用することで、廃棄物になるものが誰かの手に渡り、再び使われる。リユースとして有効な方法であり、市としても啓蒙、推奨してはどうか。
答 リユースアプリは、不要となった物を譲り合い、ごみの減量につながる

ものと考えられる。3Rを推進する中で、ごみの減量の有効な手段として市民への啓蒙、推奨に取り組んでいきたい。

問 クリーンセンターには大量のリユース品が保管されている。リサイクルバザールを開催して販売しているが、この準備や事務には相当な手間と時間がかかっている。リユースアプリを活用して市民に還元していく方法が可能だと考えるがどうか。
答 リユースアプリの活用はリサイクルバザール同様に、本市のリユースを推進するものであり、リユース品の速やかな処分につながる方策の一つとして考えられるため、今後研究をしていきたい。



蒲郡市基本構想などを議決

6月市議会定例会は、6月11日から23日までの13日間の会期で開き、議案16件を審議しました。蒲郡市基本構想の改定など、主な内容をお知らせします。

6月定例会 議案

条例の改正

●手数料条例の一部改正 (第40号議案)

住民票等証明書コンビニ交付事業の実施に伴い、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機により住民票等証明書を交付する際の手数料を定めます。

また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、個人番号カードの再交付手数料を廃止します。

●文教委員会での主な質疑

問 再交付手数料がなくなったのか、市がいったんもらってどこかに納めているものを、直で納めてもらうようになったのか。

答 市が歳入で受けたものをJ-LIS（地方公共団体情報システム機構）に歳出として払っていましたが、改正により、市の会計を通じてJ-LISに支払う形となります。

問 市外のコンビニエンスストア等においてもマイナンバーカードを利用して住民票等を取ることができるか。

答 住民票については、蒲郡市に住民登録があれば取得できます。戸籍謄本につ

いては、住民票の市区町村と本籍地の市区町村が異なる場合、利用前に本籍地の市区町村へ利用登録を行う必要があります。

●本会議の主な論点

賛成 住民票等のコンビニ交付事業の手数料は自動交付機と同額となっている。またこの改正により市役所での事務手続が変更されるというのではないため、市民に対して、特別な不便を強いるものではないと考える。

反対 マイナンバーカードは個人情報が集積されるものにも関わらず、その情報漏洩対策は極めて脆弱である。利便性を上回る危険性が想定され賛成できない。

●市民体育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正 (第43号議案)

市民体育館耐震・長寿命化改修工事の施工及び設備器具の更新に伴い、施設及び設備器具の使用料を改定します。

また、管理棟の北の間を廃止します。

●文教委員会での主な質疑

問 料金改定の基準や、設備器具の金額設定の根拠はどのようか。

答 工事費を基準に減価償却等を考慮して算出した場合には、利用者負担額の大幅な増が確実となります。よって、他市との均衡を勘案の上、大幅な機能向上が図られる競技場については2割程度、体育館ほどではないが機能向上が図られた弓道場については1割程度の増額としました。

設備器具についても原価計算を基本とし、利用者負担額の大増となる場合は増額幅を抑えています。

●本会議での主な論点

賛成 この度の工事では、耐震化に加え、施設改善や各

6月定例会の日程

- 11日 本会議
〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 14日 本会議〔一般質問〕
- 15日 本会議〔一般質問〕
議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 経済委員会
- 18日 文教委員会
- 23日 本会議
〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕



工事中の市民体育館

■ 陳 情

- 公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 正規労働者が当たり前、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる社会を求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 障害・介護福祉に従事する職員や保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない障害・介護・保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択
- 「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間化過密労働解消のための施策を求める陳情
提出者 春の自治体キャラバン実行委員会
代表 知崎 広二
審査結果 不採択

種備品の更新も予定されており、施設の利用環境が向上することが見込まれる。今回の使用料の設定は、原価計算や他市との均衡を考慮したものであり、利用者に理解してもらええる金額内であると判断する。

反対 例えば、冷暖房設備は1時間9000円である。これでは市民がスポーツの練習をするときに気軽にエアコンを使うことはできない。市の体育館は市民スポーツの振興のためにあり、

このような使用料の改定、設定には反対である。

その他の議案

●蒲郡市基本構想

(第46号議案)

令和3年度から実施の第五次蒲郡市総合計画の策定に伴い、基本構想を改定します。

目標年次を令和12年として、将来都市像を「豊かな自然 一人ひとりが輝きつながりあうまち」が輝き

する蒲郡」と定めます。目標人口は7万7000人と設定します。

●本会議の主な論点

賛成 将来都市像の実現と目標人口の達成に向け、進化管理に努めつつ、SDGsの取組とも有機的に連携しながら、分野横断的な施策を市民・市民活動団体・事業者・行政等が協働することで、魅力あるまちづくりを進めていくものであると考える。

反対 本来、地方自治体が果

■ 6月定例会で議決された令和3年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予 算 額	
一般会計 (第2号)	財政調整基金積立金	4,930万円	2億 5,187万円	321億 3,639万円
	サーキュラーエコノミー推進委託料	1,000万円		
	新型コロナウイルス感染症対策事業費			
	タクシー事業者運行維持助成金	290万円		
	子育て世帯応援給付金給付事業費	1,510万9千円		
	子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業費	7,219万8千円		
	オンライン診療推進事業費	218万4千円		
PCR検査委託料	432万円			
プレミアム付商品券発行事業費補助金	6,000万円			
一般会計 (第3号)	塩津北保育園跡地活用事業費	117万3千円	264万円	321億 3,903万円
	市道松原竹島町1号線舗装補修工事費	1,500万円		
一般会計 (第3号)	新型コロナウイルス感染症対策事業費 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	264万円		
公共用地 対策事業 特別会計 (第1号)	一般会計繰出金	4,930万円	4,930万円	6億 7,490万円

たすべき役割は、住民の福祉の増進を図ることにあると考える。シテイセールスにより知名度や認知度を高めることよりも、住民の安全性確保や貧困からの脱却を図るべきである。また、射幸心をあおるポータル事業からの脱却を図る方

向性がない等、不十分な点や同意できない点がある。

●工事請負契約の締結(形原中学校大規模改造工事)
(第51号議案)

形原中学校の大規模改造工事を行うため、株式会社ケイディーエルと工事請負

議会日誌

3月24日から6月23日

4月

- 12日 議会運営委員会理事会
- 28日 議会運営委員会理事会

5月

- 6日 5月臨時会招集告示
- 10日 議会運営委員会
議会運営委員会理事会
議員親睦会理事会
- 13日～14日 5月臨時会
- 14日 議員親睦会総会
正副委員長会議
- 18日 経済委員会所管事務概要説明
- 19日 総務委員会所管事務概要説明
- 25日 文教委員会所管事務概要説明
- 28日 議会運営委員会理事会
- 31日 全員協議会

6月

- 1日 6月定例会招集告示
議案説明会
- 4日 議会運営委員会
- 11日～23日 6月定例会
- 23日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会



契約が締結されます。契約額は1億7776万円で、一般競争入札により決められました。
工事概要は、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て内外装改修工事一式、西渡り廊下塗装替工事一式です。工期は、契約締結日の翌日から令和4年2月18日です。

■ 全会一致で可決・同意した議案

(○内の数字は議案、意見書案番号)

- ③7 個人情報保護条例の一部改正
- ③8 公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正
- ③9 市税条例等の一部改正
- ④2 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ④4 監査委員の選任
- ④5 人権擁護委員の候補者の推薦
- ④7 住居表示の実施に係る市街地の区域の変更
- ④8 財産の取得（市立小中学校大型提示装置）
- ④9 令和3年度一般会計補正予算（第2号）
- ⑤0 令和3年度公共用地対策事業特別会計補正予算（第1号）
- ⑤1 工事請負契約の締結（形原中学校体育館大規模改造工事）
- ⑤2 令和3年度一般会計補正予算（第3号）

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	会派・議員名																					
		自由民主党 蒲郡市議団						蒲郡自由クラブ				公明党 蒲郡市議団		蒲郡 市政クラブ		無会派							
		大向正義	大場康議	大須賀林	喚田孝博	鈴木将浩	青山義明	竹内滋泰	尾崎広道	鈴木基夫	鈴木貴晶	稲吉郭哲	牧野泰広	伊藤勝美	大竹利信	松本昌成	新実祥悟	鎌田篤司	藤田裕喜	日恵野佳代	柴田安彦		
40	手数料条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
41	印鑑条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
43	市民体育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
46	蒲郡市基本構想	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※大向正義議員は議長職により採決には参加していません。

委員会通信

地域強靱化計画の策定について

6月16日に開かれた総務委員会において、地域強靱化計画の策定について報告がありました。

本計画は、大規模自然災害に対する本市の脆弱性を認識し、事前防災及び減災その他迅速な復旧等に資する施策を総合的に実施するため、地域強靱化の観点から、都市計画・地域防災・地域創生・インフラ長寿命化など各分野の計画に対し、指針として位置づけられるもので、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間です。

本市の脆弱性評価を行い、8の事前に備えるべき目標と43の起きているならない最悪の事態（リスクシナリオ）を設定し、シナリオごとに推進方針と施策、進捗管理する各課事業を関連事業一覧として記載しています。

シティーセールス基本方針及び下水道事業経営戦略の策定について

6月17日に開かれた経済委員会において、次のとおり報告がありました。

●シティーセールス基本方針の策定

キャッチフレーズを「ここにしかない、魅力がある『がまごおりじなる』とし、シビックプライド（わがまち意識）の向上や定住人口・交流人口の増加を図



がまごおりじなる
シティーセールスロゴ

ることを目指します。

また、基本方針を具体的に推進するため、官民連携の「チーム蒲郡」による強力な推進体制を構築します。

●下水道事業経営戦略の策定

平成31年4月より企業会計に移行したことを踏まえ、複式簿記、発生主義による会計数値を用いた新たな経営戦略を策定し、持続可能な下水道事業運営を図っていくものです。

計画期間は令和3年度から令和12年度までとします。投資計画としては、令和元年度に63・7%の下水道普及率について、令和12年度時点で83%以上の実現を目指します。

財源計画としては、経費回収率100%以上の実現、将来の更新投資を見据えた適切な資金残高の確保を目指します。

地域公共交通計画の策定及び塩津北保育園跡地の利活用について

6月18日に開かれた文教委員会において、次のとおり報告がありました。



4月より運行開始した「ひめはるくるりんバス」

●地域公共交通計画の策定

市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、平成28年6月に「蒲郡市地域公共交通網形成計画」を定め、公共交通を一体的に改善する施策を進めてきました。

これまでの取組を継続するとともに、公共交通事業を取巻く環境の変化に対応し、現計画の評価や住民ニーズから分かった課題・問題を解決するため、新たな「蒲郡市地域公共交通計画」を策定するものです。

●塩津北保育園跡地の利活用

塩津北保育園が令和3年

3月末をもって閉園となったことに伴い、跡地の利活用として民間事業者による小規模保育事業の展開と児童遊園地の移設を行います。小規模保育事業は、緊急に対応しなければならぬ低年齢児（0歳児から2歳児）保育の待機児童発生回避のために必要な方策として実施するものです。

また、現在の児童遊園地（奥林児童遊園地）の環境の悪さから有効に利用されていない問題を解消するため、保育園跡地の遊具等を有効活用した児童遊園地を整備します。



3月末に閉園となった塩津北保育園

9月定例会予定

9月市議会定例会は、9月3日(金)に開会する予定です。詳しい日程は、8月26日(木)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。

東三河広域連合議会

5月28日に東三河広域連合議会5月臨時会が豊橋市で開催されました。

議長に豊橋市の古関充宏議員、副議長に豊川市の早川喬俊議員が当選し、監査委員には、新城市の中西宏彰議員を選出しました。

また、常任委員会委員の選任等も行なわれました。

東海市議会議長会及び全国市議会議長会会長から表彰

市議会議員として、柴田安彦議員が35年以上、日恵野佳代議員が30年以上、尾崎広道議員、鈴木基夫議員、鈴木貴品議員、稲吉郭哲議員、牧野泰広議員、青山義明議員及び竹内滋泰議員が10年以上、市政の発展に尽くされた功績に対し、栄えある表彰を受けられました。

議会だよりは点字版、テープ版・CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は音訳グループ「声」の皆さんのご協力で行われています。また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院及び市立図書館にも置いてあります。



こちら編集委員会
66-1169

今定例会では16名が一般質問に登壇。うち9名が新型コロナウイルス感染症関連の質問の通告を行いました。

新型コロナウイルスによる影響は市民生活全般に及ぶ中、ようやく感染症対策の切り札とされるワクチン接種が開始されました。市政にはよりスピード感をもった運営が求められ、同時に議会もそれら行政政策の検証や、市民ニーズの提案など、役割も大きくなります。

議会の活動を知る手段が議会だよりです。議会ではどのような議論がされ結論に至り、一般質問では議員のどのような主張・意見で執行部を問い質し、議論したのか、経緯を報告します。

また、より多くの方が議会に興味をもっていただけるよう、蒲郡市議会では本会議の内容をYouTubeで配信しており、今後は常任委員会での模様も配信が計画されています。

議会だより編集委員会は、議会だよりの発行を通じ、一般質問のほかに議案・請願の審査、各委員会の活動、東三河広域連合議会の状況等を分かりやすく市民の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。
〔議会だより編集委員会〕

- ◎稲吉郭哲 ○大須賀林 喚田孝博
- 伊藤勝美 鈴木貴品 竹内滋泰
- 鎌田篤司 (◎は委員長、○は副委員長)



私たちが編集委員です。

今月の表紙 ワクチン接種実施中

市では5月24日から65歳以上の高齢者の方を対象にワクチン接種が開始され、6月30日から64歳以下の方にも接種券(クーポン)の送付が開始されています。基礎疾患等を有する方は年齢制限なく、接種券の優先送付の申出を受付中です。

ワクチン接種の加速化を図るため、市内の個別接種や集団接種に加えて愛知県の大規模接種へも積極的に参加します。

今後も市民に寄り添う接種体制「蒲郡モデル」で安心安全なワクチン接種を進めます。



問い合わせ先

新型コロナウイルスワクチン接種推進室 56-2353